

平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	人と文化を育むまちの形成
基本方針	生涯を通じて学びあうまち
基本施策名	スポーツ活動の推進

	所属	職名	氏名
作成者	都市計画課	課長	久保田 薫
評価者	都市建設部	部長	横山 正

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	非構造部材の耐震化、経年劣化による改修のため、H30年度末完成をめざし、耐震診断と実施設計を行って年度末には工事を発注しました。避難施設であるので耐震性の確保は、施設管理者の責務です。
基本方針 (目指すべき方向性)	スポーツ施設の充実と適切な管理を行い、誰もがスポーツを楽しめる環境を整備し、スポーツを通じたコミュニティづくりと心身の健康増進及び競技力の向上を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
スポーツイベント参加者数 (人/年)	人	22,259	30,700	26,678	35,418	31,990	102	順調	生涯学習課
スポーツ・レクリエーション施設利用者数 (人/年)	人	641,940	700,000	531,641	640,277	660,587	94.4	順調	生涯学習課
総合型スポーツクラブ参加者数 (人/年)	人	248	980	467	480	496	50.6	停滞	生涯学習課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0108510	三郷文化公園体育館 大規模改修	公園緑地係			271,536,800	354,200,000		625,736,800	ハード(継続)	継続	H30	現状のまま 事業を実施 することが 適当	0.2	○
合計						271,536,800	354,200,000		625,736,800						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	耐震補強の実施、既存施設の改修により、施設が長寿命化します。
重点化事務事業の考え方	財源確保のため、国の社会資本整備総合交付金を活用しながらH29、H30年度の2箇年で整備を進められるよう、申請手続きや要望活動を実施しています。
縮減・廃止事務事業の考え方	H29、H30年度の2箇年で実施しています。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	国予算の事情により内示率は45.3%と申請に対し十分な配当ではありませんが、指定避難所であることやH31年度春に開催する都市緑化信州フェア、サテライト会場の位置付けにより、H30年度内の竣工をめざします。

平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心・快適なまちの形成
基本方針	風土に根ざした魅力あるまち
基本施策名	秩序あるまちづくりの推進

	所属	職名	氏名
作成者	都市計画課	課長	久保田 薫
評価者	都市建設部	部長	横山 正

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	<p>立地適正化計画は、H27年度に基礎調査を実施して、H28、H29年度の2箇年で調査、住民説明会、国土交通省のヒアリング、都市計画審議会の意見聴取を行って、予定どおり策定しました。 今後は、制度周知を行いつつ、届出に対する相談、受領業務を実施していきます。</p> <p>都市計画道路の整備については、H27. 4月に策定した道路整備推進計画に基づいて、豊科地域の吉野線整備に着手し、用地等の補償を進めています。</p> <p>明科地域の国道19号歩道整備事業と並行して、都市再生整備計画による「明科駅周辺地区」事業を進めるため、地元住民との懇談を重ねて、駅前広場の基本設計を実施しました。</p> <p>都市再生整備計画「水辺の里地区」については、穂高駅前広場が7月に完成し、供用開始して竣工式を挙行了しました。 県道「穂高停車場線」歩道整備については、L=220mの工事を発注し、H30年度5月の完成を目指して進めています。</p>
基本方針 (目指すべき方向性)	<p>自然と調和の取れた田園産業都市の形成を目指します。 また、都市計画基礎調査などの動向にも注視し、土地利用に関する現状、推移を勘案して必要に応じて土地利用基本計画の見直しを行います。</p>

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
都市計画道路整備率	%		42.96	33.1	33.4	33.5	78	停滞	都市計画課

施策指標の進捗状況と分析	<p>都市計画道路の整備率は、H29年度末に33.5%となっていますが、吉野線については現在用地等の補償を進めていて、整備は継続している状況です。 限られた財源の中で、国の社会資本整備総合交付金を活用しながら進めていますが、この配当結果に影響されています。</p>
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化		
				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数	
1	0108370	立地適正化計画策定業務	計画係		7,689,600	7,200,000	52,000			14,941,600	政策的業務	継続	H30	現状のまま実施することが適切	1.5	○
2	0108380	都市計画総務費	計画係		332,620	195,990,361				196,322,981	義務業務			現状のまま実施することが適切	1.3	
3	0108390	土地利用制度	計画係		310,938	334,992	388,000	15,066,000		16,099,930	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	1.2	
4	0108460	街路整備事業(交付金)	都市整備係		71,490,436	88,016,665	35,000,000	55,000,000		249,507,101	ハード(継続)	継続	H33	現状のまま実施することが適切	1.12	○
5	0108470	都市再生整備計画事業(交付金)	都市整備係		195,844,200	6,551,280	211,316,000	550,720,000		964,431,480	ハード(継続)	継続	H34	現状のまま実施することが適切	1.15	○
6	0108530	都市下水道維持管理費(市単独)	都市整備係		2,219,456	8,197,758	2,338,000	2,383,000		15,138,214	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.35	
7	0108540	市街地排水路改修事業(市単独)	都市整備係		9,345,767	8,408,016	9,677,000	9,677,000		37,107,783	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.46	
合計					287,233,017	314,699,072	258,771,000	632,846,000		1,493,549,089						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	<p>人口減少、少子高齢化社会が到来し、持続可能な安曇野市のためにコンパクトで利便性の高いまちづくりを進める必要があり、立地適正化計画は重要な施策です。</p> <p>都市計画道路については、利便性が良く、安全なまちづくりのために継続していきます。また、長期未着手路線については、県関係が多いものの、見直しが必要な路線は見直しを進めていきます。</p>
重点化事務事業の考え方	<p>都市計画マスタープランのまちづくりの将来像「山岳と田園が育むよさを大切にし、暮らしやすさをみんなで共有できるまち」を構築するため、独自条例による土地利用と都市整備を進めていきます。</p> <p>持続可能な安曇野市のために、コンパクトで利便性の高いまちづくりを構築していきます。</p>
縮減・廃止事務事業の考え方	<p>都市計画道路の未整備路線の検討を行います。</p>
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出)	<p>立地適正化制度の運用については、広報を展開します。</p> <p>市街地の整備等については、引き続き交付金制度を活用して計画的に整備を進めます。</p> <p>H30年度は、5年に一度の都市計画基礎調査実施の年に当たり、今後の施策展開の基礎データを収集します。</p>

平成29年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	安全・安心・快適なまちの形成
基本方針	風土に根ざした魅力あるまち
基本施策名	住環境の整備

	所属	職名	氏名
作成者	都市計画課	課長	久保田 薫
評価者	都市建設部	部長	横山 正

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	H25年度に策定した、公園施設長寿命化計画に基づいて、公園施設の更新、修繕、補修工事を実施しています。遊具の更新では、社会資本整備交付金事業により、下長尾公園ほかの遊具更新工事を実施しました。また、公園施設のバリアフリー化については、豊科中央公園のトイレを改築しました。
基本方針 (目指すべき方向性)	公営住宅の整備や適正な開発指導、耐震化の推進などにより、良好な住宅・宅地の供給を図るとともに、公園緑地の整備を進め、健全な居住環境の形成を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
公園面積 (㎡/人)	㎡	16.45	23.46	18.21	18.21	23.17	98.8	順調	都市計画課
簡易耐震診断件数	戸	482	1,000						建築住宅課

施策指標の進捗状況と分析	国の社会資本整備総合交付金事業の内示率が55.6%と低く、計画的な事業実施が行えていません。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況					重点化
				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	正規職員数	
1	0108480	都市公園管理事業	公園緑地係		57,174,950	89,552,190	52,295,000	70,255,000	269,277,140	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	2.8	
2	0108490	その他公園管理事業	公園緑地係		14,462,618	13,039,245			27,501,863	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	1.5	
3	0108500	公園施設の維持補修・更新・バリアフリー化事業	公園緑地係		77,988,621	80,172,733	87,356,000	98,548,000	344,065,354	ハード(継続)	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.9	○
合計					149,626,189	182,764,168	139,651,000	168,803,000	640,844,357						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	修繕などにより、施設の長寿命化が行われ、コスト削減が図られています。公園利用者が安全かつ安心して利用できるよう、管理を行っています。
重点化事務事業の考え方	各公園を整備した時期が集中しているため、施設が一斉に老朽している状況で、対象をすべて更新する事は多額の財源を必要となります。したがって、公園施設長寿命化計画に基づき、交付金を活用しながら計画的に更新。修繕する事で、長寿命化を図り、負担の平準化と安全確保を図る事は大きな効果があります。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出)	安全な公園利用、財源の平準化のため、引き続き計画に沿った整備が必要です。 財源に交付金を充てていますが、内示率が低い状況にあるので、計画通りに進められていません。